

# ハンドクレーン省エネ化

## デジタル化も推進

は、24年にアイドリングタイムに切り替えるまでの時間を従来の3分から30秒に短縮したタイプを投入。これにより旧タイプよりも消費電力、CO<sub>2</sub>排出量いずれも65・9%削減を達成している。既存品のアンプユニットを取り替えるだけでも対応可能で、発売済みの電気式ラクラクハンドのCO<sub>2</sub>排出量を、現状で年間約1万7200\*削減に成功している。

## 自動車部品の アイコクアルファ

自動車部品製造のアイコクアルファ（本社福沢市祖父江町、樋田克史社長）は、荷物の移動作業を支援する自社製ハンドクレーン「ラクラクハンド」について、省エネルギー化と複雑な用途への対応力向上を進める。アナログ制御の電気式タイプのモーターを全面的に取り替え、試作段階で二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）と消費電力量の約8割削減を達成。デジタル制御にすることで、複雑な用途についても簡単に適合できるように機能を高める。2027年中の発売を目指す。（鈴木隆宏）

## 27年に市場投入

顧客から省エネ対応を求められることが多くなったことから、開発に着手した。デジタル制御のタイプはマイコンが搭載されており、マイコンにプログラムを入力して操作する。アナログ制御で必要だったプログラマブル・ロジック・コントローラ（PLC）が不要で、使い勝手が良くなる。また複雑な用途への対応力も高まる。一番大きなモーターを搭載し、消費電力量の多い助力用エアシリンダーを用いているEH350型から新タイプを発売し、トルクモーターを搭載している8機種すべてに展開する予定だ。市場投入に向け、さらなる省エネ化にも取り組む。電気式ラクラクハンド



省エネ化とデジタル制御化を進めている「ラクラクハンド」

